

家庭学習のすすめ ～保護者のみなさまへ～



家庭学習に取り組みせ、
自主的に学習する力を身に付けさせましょう。

令和2年度版 家庭学習啓発リーフレット(小学校版)

裏面のような**生活習慣**を整えるのも、
大切なことです。

家庭学習について

家庭学習

宿題

自主学习

家庭学習には、
宿題と自主学习があります。
学校から出されるものです。
初めに必ず取り組みます。

子どもが自分で課題を
見付けて学習するものです。

家庭学習への取り組みせ方 や お子さんへの関わり方

1 最初に 宿題。

まずは学校の宿題から取り組みせましょう。宿題を確認することで、学校で今、
どんなことをしているのか知ることができます。

2 次に 自主学习。

いつ？

自主学习って「何を」すればいいの？ ～課題が決まらないときは～
お子さんの興味があることや、苦手を克服したいと思っていることを
お子さんに聞いてみましょう。それが**自主学习の課題**になることもあります。

自分の課題を解決するためには「どう」すればいいの？

課題に向けて、どんな**方法**で取り組むとよいかなど、
はじめのうちは、一緒に考えてあげましょう。

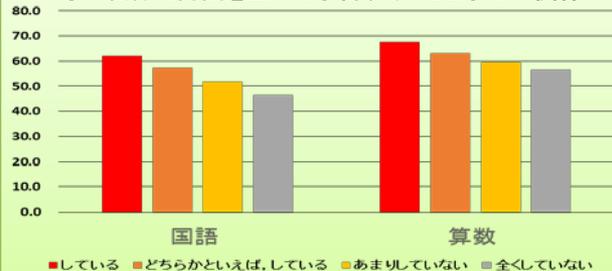
どこで？

どのくらいの
時間が目安？

低学年…10～30分 中学年…30～50分 高学年…50～70分

令和元年度全国学力・学習状況調査の横須賀市平均正答率

(%) 家で自分で計画を立てて学習することと学力の関係



計画的に学習を
行っている子ども
の方が、正答率
が高い傾向にあ
ります。

自主学习で取り組むとよいもの(例)

- ・日記を書く
- ・地図で地名を調べる
- ・伝記を読む
- ・図鑑を見てノートに絵や情報をかく
- ・新聞記事をまとめる
- ・ローマ字で自分や友だちの名前を書く
- ・工作をする
- ・漢字・算数ドリルに取り組む
- ・辞書で慣用句を調べる
- ・リコーダーの練習をする
- ・料理をして、レシピにまとめる
- ・授業で書いたノートを自主学习ノートにまとめる

3 取り組んでいる様子を見ましょう。

そばにいることや励ましの声かけは、お子さんの意識を前向きにします。
低学年の時は特に大事ですが、中・高学年のお子さんにも必要なことです。

4 できあがったものに目を通し、がんばりをほめましょう。

がんばって取り組んだものには、お子さんの学びの足あとがあります。「～が
できたんだね」「～がわかったんだね」など小さなことでほめてあげましょう。
また、その中には間違いもあるかもしれません。間違いにも気づかせ、時には
アドバイスすることも大切です。家庭学習への意欲や質が高まります。

お子さんの学習の様子を
見守っていきましょう

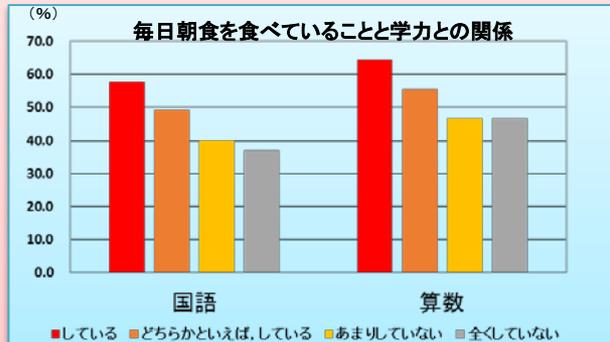


学力・体力を身に付けるには、基本的な生活習慣を身に付けさせることが大切です！

家庭で温かくお子さんを見守り、教え、一緒に学び、毎日元気に学校生活を送ることができるようにしましょう。

生活習慣

令和元年度全国学力・学習状況調査の横須賀市平均正答率



毎日朝食を食べている子どもの方が、両教科においても正答率が高い傾向にあります。

規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。

早寝・早起き

睡眠時間を十分に確保することが大切です。お子さんが、遅くまでテレビを見ていることのないように気をつけましょう。



朝ごはん

朝ごはんを摂ると、内臓が動き、排泄も促され、1日の生活のリズムが整います。

1日の時間の管理

睡眠時間や家庭学習に取り組む時間、遊ぶ時間、家族の会話の時間など、1日の計画を立てて過ごせるようにしましょう。

学習する雰囲気を作りましょう。

机の上の片付け

机の上を整えて、家庭学習に取り組むようにさせましょう。

テレビは消して

学習時間になったらテレビを消して、集中して学習できる環境にすることが大切です。

日々を豊かに

対話

学校での出来事を話題にして、お子さんの様子を把握しましょう。

手伝い

お子さんの年齢に合わせて家族の一員として、家の手伝いをさせましょう。

地域の行事

地域の一員として、地域の行事に進んで参加するように勧めましょう。

あいさつ

大人が率先して挨拶をしましょう。

体験のチャンスを

様々な体験は、心を豊かにし、次への意欲を育てます。実感を伴った理解を深めることにもつながります。

体を動かす

体を動かして遊んだり運動したりすることを進めましょう。体力がつくだけでなく、体の機能を高めることができます。

整理整頓

学習や遊びの道具、衣服などの整理整頓ができるようにお子さんに声をかけましょう。

学習環境を豊かに

読書

様々な本を手にとる機会をつくりましょう。読書好きは、学び上手になります。

声かけ

宿題は出ているのか、自主学習は何に取り組むのか、声をかけて確認しましょう。



次の日の支度

翌日の学習の準備をさせ、確認しましょう。

